

指導と評価の年間計画

学年	教科(科目)		単位数		
2	地理歴史(世界史B)		3		
到達目標【学習指導要領】		<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。</li> </ul>			
到達目標に向けての具体的な取組【指導上の留意点】		<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的事象に対する興味・関心を高め、主体的な学習態度を育成する。</li> <li>資料を多面的・多角的に考察し、読み解く技能を習得させる。</li> <li>人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄を理解させ、幅広く知識を身に付けさせる。</li> </ul>			
月	章	使用教科書項目	時間	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価方法
4	世界史への扉【主題学習】 ア 自然環境と人類のつながり	序章 先史の世界	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境の違いから農耕民と遊牧民の生活の違いについて考察する。中学校社会科の知識を活用し、地理や日本史との関連で考察する。</li> </ul>	観察 ワークシート
	第1章 1 古代オリエント世界		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>人類の進化の過程を概観し、人類史における農耕・牧畜の開始の意義を考察し、自然環境と地域世界の形成との関わりを把握する。</li> </ul>	観察 ワークシート
	2 ギリシア世界 3 ローマ世界		12	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリエント文明の成立と発展、イラン民族の活動などを中心に歴史を概観し、現代に与えた影響を考察する。</li> <li>地中海世界の風土や、ギリシア・ローマ文明の特質を理解し、ヨーロッパ文明とのつながりについて考察する。</li> </ul>	観察 ワークシート 小テスト レポート
5	世界史への扉【主題学習】 イ 日本の歴史と世界の歴史とのつながり		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本と世界の諸地域の接触・交流について、技術や文化から考察し、日本の歴史と世界の歴史のつながりに気付く。</li> </ul>	観察 ワークシート
	第2章 1 インドの古典文明			<ul style="list-style-type: none"> <li>独自の宗教や社会制度を持つ南アジア世界の形成過程に関心をもち、その特性を把握して基本事項を理解する。</li> </ul>	観察 ワークシート 小テスト
6	2 東南アジアの諸文明 3 中国の古典文明 4 南北アメリカ文明		12	<ul style="list-style-type: none"> <li>東南アジアにおけるインド・中国文明の受容と影響を概観する。</li> <li>黄河文明、秦・漢帝国の成立と発展を中心に、古代中国の歴史の展開を概観する。</li> <li>南北アメリカ文明に関する写真資料を活用しながら、その特色を理解する。</li> </ul>	小テスト 前期中間考査
	世界史への扉【主題学習】 ウ 日常生活にみる世界の歴史		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣服について、民族による差異を自然環境や生活・文化との関連で捉え、その時代的変遷に着目して服飾意識の変化に気付く。</li> </ul>	観察 ワークシート
7	第3章 1 草原の遊牧民とオアシスの定住民 2 北方民族の活動と中国の分裂		9	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像資料などを通じて、内陸アジアの自然と風土や諸民族の生活に関心をもち、</li> <li>農耕民族と遊牧民の様々な接触を通して、東アジア文化圏が特色ある発展を遂げていく様子を理解する。</li> <li>唐王朝が東アジアにおいて果たした役割を隣接諸国の動向などから考察する。</li> </ul>	観察 ワークシート 小テスト レポート
8	3 東アジア文化圏の形成				
9	【主題学習】 時間軸から見る諸地域世界		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の範囲から一地域を選び、時間軸に沿って歴史的事実を整理し、その因果関係について考察する。</li> </ul>	観察 ワークシート
10	第4章 1 イスラーム世界の形成 2 イスラーム世界の発展 3 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 4 イスラーム文明の発展		8	<ul style="list-style-type: none"> <li>イスラームの成立を政治的・社会的背景から整理し、その特色を捉える。</li> <li>イスラーム世界の拡大に伴う社会変化を捉え、多角的に考察する。</li> <li>イスラーム文明の基盤や特徴に関心をもち、形成されたネットワークの影響について考察する。</li> </ul>	観察 ワークシート 小テスト 前期期末考査
	第5章 1 西ヨーロッパ世界の成立 2 東ヨーロッパ世界の成立 3 西ヨーロッパ中世世界の変容		15	<ul style="list-style-type: none"> <li>東西ヨーロッパ世界が形成されていく過程を地域性に着目しながら概観し、それぞれの特性について理解する。</li> <li>十字軍や国土回復運動などの背景に注目しながら、その動きがヨーロッパ世界に与えた影響について理解する。</li> </ul>	観察 ワークシート 小テスト
11	第5章 4 西ヨーロッパの中世文化		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>中世文化の特色とキリスト教会の果たした役割を関連付けて考察する。</li> </ul>	ワークシート
	第6章 1 トルコ化とイスラーム化の進展 2 東アジア諸地域の自立化 3 モンゴルの大帝国		9	<ul style="list-style-type: none"> <li>内陸アジアにおけるトルコ化とイスラーム化の進展を理解する。</li> <li>宋代の社会経済の特色について、資料を活用しながら理解する。</li> <li>モンゴル帝国の興亡と、その活動がもたらした諸地域世界への影響について多角的に考察する。</li> </ul>	観察 ワークシート 後期中間考査
12	【主題学習】 空間軸から見る諸地域世界		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸地域世界の接触や交流を地図を活用しながら整理し、空間的なつながりを理解する。</li> </ul>	観察 ワークシート
	第7章 1 東アジア世界の動向 2 清代の中国と隣接諸地域 3 トルコ・イラン世界の展開 4 ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展		14	<ul style="list-style-type: none"> <li>明・清帝国と隣接諸国との関係を学び、16～18世紀のアジア諸地域世界の特質を理解する。</li> <li>イスラーム専制諸国家の統治の特色と共通点を考察し、ヨーロッパ諸国の進出に伴う社会の変容について理解する。</li> </ul>	観察 ワークシート 小テスト レポート
2 ・ 3	第8章 1 ヨーロッパ世界の拡大 2 ルネサンス 3 宗教改革 4 ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成		14	<ul style="list-style-type: none"> <li>14～15世紀のヨーロッパ社会の変動に着目し、16世紀以後のヨーロッパ世界拡大の背景を理解する。</li> <li>地図や写真資料などを活用する。</li> <li>主権国家体制の特色とその形成過程を、各国の状況や国際関係に注目しながら理解する。</li> </ul>	観察 ワークシート 小テスト 学年末考査

単元の指導計画

単元名	イスラーム世界の形成
-----	------------

□単元の目標 イスラーム世界の成立の背景と特質をつかませ、アラブ人によるイスラーム帝国の形成と展開について理解させる。

□単元の評価基準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
イスラーム世界の拡大と交流の活発化に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	イスラーム世界の形成と拡大及びイスラームの特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	イスラームに関する図版や写真などの資料から有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	イスラーム世界の形成と拡大の過程についての基本的な事柄を把握し、その知識を身に付けている。

□指導と評価の計画（3時間）

次 程	学習活動	評価の観点				評価基準等
		関	思	技	知	
第 1 次 （ 1 時 間 扱 い ）	【ねらい】イスラーム世界に興味をもたせ、イスラームの成立の背景と特質を考察させる。					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イスラームに対してもっているイメージを発表する。</li> <li>○『クルアーン』などの資料から必要な情報を読み取り、イスラームの教義についてまとめる。</li> <li>○当時の社会変化とイスラーム成立との関係について、整理する。</li> </ul>	●				<ul style="list-style-type: none"> <li>・イスラームの特質について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。（挙手・発言）</li> <li>・生徒同士、意見交換しながら、イスラームの特色をまとめている。</li> <li>・イスラームの成立の背景について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果について適切に表現している。（ワークシート）</li> </ul>
第 2 次 （ 2 時 間 扱 い ）	【ねらい】イスラーム帝国の成立前後を比較し、イスラーム世界の拡大による社会変化を考察させる。					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○征服活動の進展について、地図を活用して整理する。</li> <li>○独立王朝や軍事政権の成立などにより、イスラーム世界が分裂していく過程を整理する。</li> <li>○征服活動の原動力は何か、考察する。</li> <li>○イスラーム帝国成立前と成立後の社会構造の違いを、その歴史的背景を踏まえて考察する。</li> <li>○イスラーム帝国の成立と、イスラーム法の発展を関連付けて考察することができる。</li> </ul>		●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・有用な情報を適切に選択して、地図上に表す活動を通して、世界史の空間的なつながりに着目して整理している。（ワークシート）</li> <li>・生徒同士、意見交換しながら、イスラーム世界の形成と拡大及びイスラームの特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。（観察、ワークシート）</li> </ul>



第5章 イスラーム世界の形成と発展（教科書 P.110～125）

【WORK】 イスラームを信仰する人の生活習慣について知っていることを3つ挙げよう。

[ ]

周りとの意見交換をしてでてきた意見、知らなかったことがあれば書こう。

[ ]

○イスラームの教え

610ころ (ムハンマド) が神 (= アッラー) の啓示を受ける

→自らを「預言者」であると自覚

→布教を開始

(主張) ①神 (アッラー) は (唯一) にして (絶対) 的な存在

↓

だから… 絶対に (偶像) 崇拝・ (多神教) を認めない  
神には絶対的に服従する (= イスラーム)

※絶対的に服従した人 = (ムスリム)

②神を信じる人は皆 (平等)

↓

だから… (聖職者) は存在しない  
(人種) や (性別) による差別は存在しない

③ (ユダヤ) 教・ (キリスト) 教も同じく唯一神を信じる宗教

↓

だから… この宗教を信じる人を「啓典の民」と呼ぶ

④聖典 = 『クルアーン』

- (特色) ・ (ムハンマド) に下された神の言葉を集めたもの
- ・ (アラビア語) で書かれており、必ず読誦するもの
- ・ 様々な分野 (政治・社会・文化・生活) に言及している

【WORK】 『クルアーン』で確認してみよう。 (出典：岩波文庫『コーラン』 井筒俊彦訳)

(1) あなたが知っていた生活習慣に関する事が書いてあれば、赤線を引いてみよう。

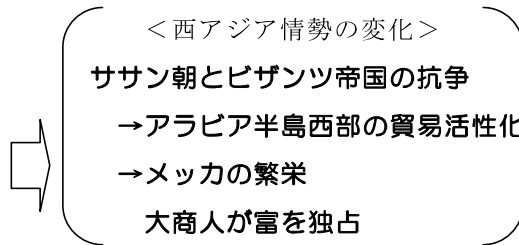
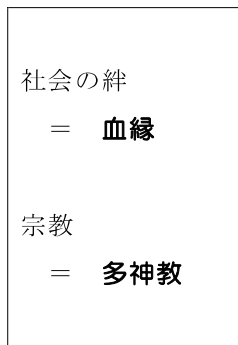
(2) 教義の特色が表れている箇所を読み取り、青線を引いてみよう。

2章	81節	かくて <b>我ら</b> ムーサーに聖典を授与し、彼の後も続々と(他の)使徒を遣わし、(中でも)マリヤム(マリア)の息子(イーサー)には数々の神兆を与え、かつ聖霊によって支えた。…
	172節	…本当の宗教心とは、 <b>アッラー</b> と最後の日と諸天使と聖典と予言者たちとを信仰し、己が惜しみの財産を親類縁者や孤児や貧民、また旅路にある人や物乞いにわけ与え、とらわれの(奴隷)を購って(解放し)、また礼拝のつとめをよく守り、こころよく喜捨を出し、いったん約束したらば約束を果たし、…
	179節	これ信徒の者よ、断食も汝らの守らねばならぬ規律であるぞ、汝らより前の時代の人々と同じように。きっとお前たちにも本当に <b>神</b> を畏れかしこむ気持ちが出来てこよう。

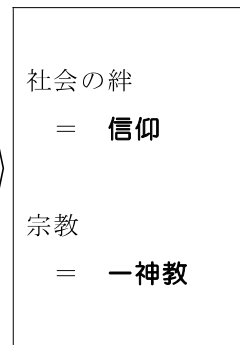
29章	45節	それからお前たち、啓典の民と論争する場合には、立派な態度でこれにのぞめ。と うても、特に不義なす徒輩を相手にするときは別だが。こう言うておくがよい、「わし らは、わしらに下されたものも、お前がたに下されたものも信仰する。わしらの <b>神</b> も お前がたの <b>神</b> もただ一つ。わしらは <b>あのお方</b> にすべてを捧げまつる」と。
30章	30節	お前たちいつでも（ <b>アッラー</b> ）の方に戻りつつ、懼れかしこまねばならぬぞ。礼拝のつ とめをかかさず、偶像崇拜にはしってはならぬぞ。
59章	22節 ～ 24節	これぞこれ唯一無二の御神、 <b>アッラー</b> 。目に見える世界も、目に見えぬ世界もとも に知悉し給う。…偉大で、その権力限りなく、尊厳この上もなきお方。 …これぞ <b>アッラー</b> 、万有を創造し、創始し、形成するお方。…

### ○イスラーム世界の成立

<従来のアラブ社会>



<ムハンマドの示した社会>



※教科書から読み取ってまとめよう。

ムハンマドの布教 → ( **メッカ** ) 大商人による迫害



622 ( **メディナ** ) へ移住 → 宗教共同体 ( ウンマ ) を建設  
( = **ヒジュラ** )

630 ( **メッカ** ) 占領 → ( **カーバ** ) を聖殿とする

632 アラビア半島統一

**【WORK】** なぜムハンマドの考えは受け入れられたのだろうか。話し合ってみよう。

[ ]

◇今日の授業

(1) イスラームに興味をもてた	(はい)	A	B	C	(いいえ)
(2) 授業に積極的に参加できた	(はい)	A	B	C	(いいえ)
(3) 資料を読み取ることができた	(はい)	A	B	C	(いいえ)
感想					

2年 組 番：氏名

## 授業の事後分析

## 1 反省・課題

- ・導入部で「イスラームのマイナスイメージ」を引き出したいと考えたが、生徒側からなかなか思うような回答が得られず、展開へともっていきることが難しくなってしまった。中学校での学習内容を踏まえ、生徒が答えやすいような発問（例えば生活習慣に関するもの）にしたり、新聞記事（例えば「ムハンマド侮辱映像を機に反米デモ」）を紹介したりするなど、アプローチの方法を工夫すべきであった。
- ・1時間で授業内容をこなさきれず、ある程度まとめようとするあまり、結果的に一方的な講義になる部分が多くなってしまった。生徒が主体的に取り組む場面をしっかりと確保するために、焦点化した授業展開の工夫が必要であった。
- ・投げかけた質問に対し、生徒同士がさっと話し合う雰囲気はできているので、これをもっと活用して授業を展開していけるとよかった。
- ・『クルアーン』を教室で見せたり、クルアーンの詠唱をCDで聴かせるなど、現物教材を用いることは生徒の興味・関心を喚起するのに有効であると改めて感じた。
- ・生徒への作業（資料を読む）の指示が不明瞭な点があり、何をどうしたらよいか、理解できていない生徒が見られた。一緒に作業をしてみせてから生徒自身に作業をさせるなどの工夫が必要であった。
- ・提示した『クルアーン』の資料の分量が多く、時間内に目を通すことができなかった。
- ・イスラームの教義やそれに基づく社会習慣などに偏見や誤解をもつことなく、イスラーム世界に興味・関心をもってもらえるように、イスラーム世界全体の導入として授業を位置付けた。しかし、充分にその意図が伝えられなかった。
- ・いわゆる「ケ」の授業において、生徒が主体的に取り組む場面をどのように、どれだけ設定していくかが課題。今回、あえて「ハレ」ではなく「ケ」の授業指導案を考えようとしたが、十分に生徒が活動する時間を確保できたとはいえない。授業進度に捉われてしまう現状の中で、言語活動の充実など新指導要領の主旨を無理なく取り入れていく方法を考えていくことが今後の課題である。

## 2 生徒の自己評価・感想

## ①授業への取組（Aはい Bふつう Cいいえ）

- |                  |   |       |   |       |   |    |
|------------------|---|-------|---|-------|---|----|
| （1）イスラームに興味をもてた  | A | 65.8% | B | 34.2% | C | 0% |
| （2）授業に積極的に参加できた  | A | 34.2% | B | 65.8% | C | 0% |
| （3）資料を読み取ることができた | A | 48.2% | B | 51.8% | C | 0% |

## ②感想

- ・今回の授業でイスラームの意味やイスラームの教えについてちゃんと理解できた。聞いているとすごくイスラームは平和的だったので、どうしてテロなど関わっているか知りたくなったり、疑問に思った。
- ・イスラームの教えを一部だけ知ることができてよかったです。私は前からイスラームはどんな宗教なのか、信者がなぜあんなに熱心なのか、不思議に思っていたので、今回とてもためになりました。
- ・これからどうなるのか、楽しみになった。イスラームの力はすごいなと思った。「クルアーン」を読むときに声を出して読まないといけないのにびっくりした。
- ・私たちはそこまで神を信じたりしていないのでよく分からない。お願いをしたり神社とかでも祈りをささげたりするのが普通なので神が一人だと思ったこともない。
- ・宗教というものを身を以てなかなか感じることはできないけれど、イスラームは様々なルールがあってこういうものもあるんだ、と興味をもつことができた。

- ・おもしろかった。イスラームはもっと重たいイメージだったけど、みな平等だし、すごいなっていう感じがしました。もっとイスラームの教えを知ってみたいと思いました。
- ・CDで実際に声を聞けたのがよかった。他の宗教とも併せてイスラームについて学べたのでおもしろかった。
- ・クルアーンにはモーセやイエスのことが書いてあって正直びっくりした。いろいろ共通していると分かれると少し楽しかった！
- ・「イスラームすること」が大変だと思いました。コーランを見ると、本当にアッラーという神様がいるような文なので驚きました。
- ・今まで小中高と歴史を学んできたけど、仏教しか触れたことがなかったので、今日の授業でキリスト教・ユダヤ教とイスラームの関係が理解できた。9. 11 テロとかの関係でイスラームってなんか悪いイメージがあったけど、そういうことではないことが分かった。今世界で起きている宗教を巡る対立や紛争も、ちゃんと宗教の生い立ちを理解するとニュースの見方も変わってくると思う。だから、もっとイスラームを含めて、宗教について知りたいと思いました。
- ・イスラームは僕たちの日常生活とは全く違って、礼拝やイスラーム暦などがあり、独特な感じがしました。
- ・イスラームという言葉は知っていたが、イスラームの意味は初めて知った。イスラームは唯一神・来世・天使・天命などを土台にして、ユダヤ教とキリスト教とつながりがあることを学べた。